

2016/11/25

(ナポレオンという名のいちご)



自分で言うのもなんですが、もともとは気の弱い、どちらかというとなイーブな人間だったような気がします。文学とか哲学向きの。

それが、社会に出て、はからずも第一線の戦士として働く羽目になってしまった。

そのため、これまた図らずも、生き残るために経済とか経営の鎧をまとうことになってしまったのかもしれませんが。しかも「有能な戦士」として。

当然、相反する中で、齟齬が出てきます。

結果、長年にわたる心の病に。

おそらく家族に見せていたのは、後者ばかりだったような気がしてきました。

「ちゃんと」「きちんと」「しっかり」の世界。

病気になる前もそうだったし、罹患後、長年にわたる苦闘の末に立ち直った後は更にもっと。

「強い人間」ではないのに、親や会社からそれを強く求められて、それを「こなして」しまったために、それが自分だと思って、ずっと突き進んできてしまったような。

そうして、これが一番悪いことなのですが、家族も自分にそれを求めているのだと勘違いしてしまった。

ここ一週間ほど、自分が主唱しているさくら社のホームページの記事と、自分が密かに起こしている内緒の、このホームページの記事を、ある事情があって整理してみて、そんな気がしてきました。

生来形質と獲得形質。

いちごの自分とナポレオンの自分。

社会に出てから今まで、この生来形質をあまりにも「悪者」として扱い、必死に隠しながら消そうとしすぎたツケ。それが家族を壊してしまった。高い代償。高価なツケ。

今、なんとなくそれを感じて、バランスがとれるように修正しようと思い始めました。

今年も引っかけってしまったがん検診の結果を今日に控えて、間に合うといいのですが。